

旭川西高校の主権者教育について

旭川西高校では、2年生の現代社会の授業の中で主権者教育を行っています。この授業では主に「現代社会と人間としてのあり方生き方」の「現代の民主政治と政治参加」の単元において、約20時間の配当時数をかけて、次のような学習をします。

- ・民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。
- ・日本国憲法の全体像にふれながら平和や人権などの問題について考察する。
- ・国会・内閣・裁判所・地方自治などの政治機構を理解し、政治に対して主権者としての関心を深める。
- ・選挙制度や政党について理解し、現代日本の政治の問題について幅広い視点から考察する。

授業の中の1つとして、模擬投票を行いました。これは実際の選挙と意識して、投票活動をしてみようというものです。模擬投票を体験した生徒の感想です。

「僕はこの授業を通して選挙の重要さや仕組みを学ぶことができました。日本では選挙だけではなく裁判官の国民審査や住民投票などのさまざまな投票があり、僕ら高校2年生も来年度から選挙権を取得するので、積極的に投票に参加したいです。

最近、日本の若者が政治に関心がなく、投票率が高齢者に比べて低いというニュースを見ました。若者が政治に関心を持つためには、こうした高校の授業やニュース、新聞を見て今の現状を知り、投票することで日本の政治に参加することが大切だと思いました。

最後にコロナ禍の今日、私たちが選挙という手段を通して新しい政策や法律の可否を判断することが大切だと思いました。」



比例代表

	オリオン党	朝日党	大開党	小政党
26 3123 21 20 10	230	50	90	議席を獲得できる
÷1	230	50	90	
÷2	115	25	45	
÷3	76.666...	16.666...	30	
	3	0		